

道内の感染状況等について

【令和3年3月19日】

主な指標の状況

	医療提供体制等の負荷			監視体制	感染状況		
	病床全体	うち重症者用病床	療養者数	検査陽性率	新規感染者数	先週1週間との比較	感染経路不明割合
全道 (3/18)	327床 	7床 	673人 	3.1% 	448人/週 (8.5人) 	0.98倍 	31.9% 

ステージ4基準	350床	35床	796人	10%	796人/週 (15.0人)	増加	50%
ステージ3基準	250床	25床	増加	増加	133人/週 (2.5人)	増加	50%

※()は10万人あたりの新規感染者数

※各指標の動向(矢印)は、1週間前との比較

感染状況

ステージ
1

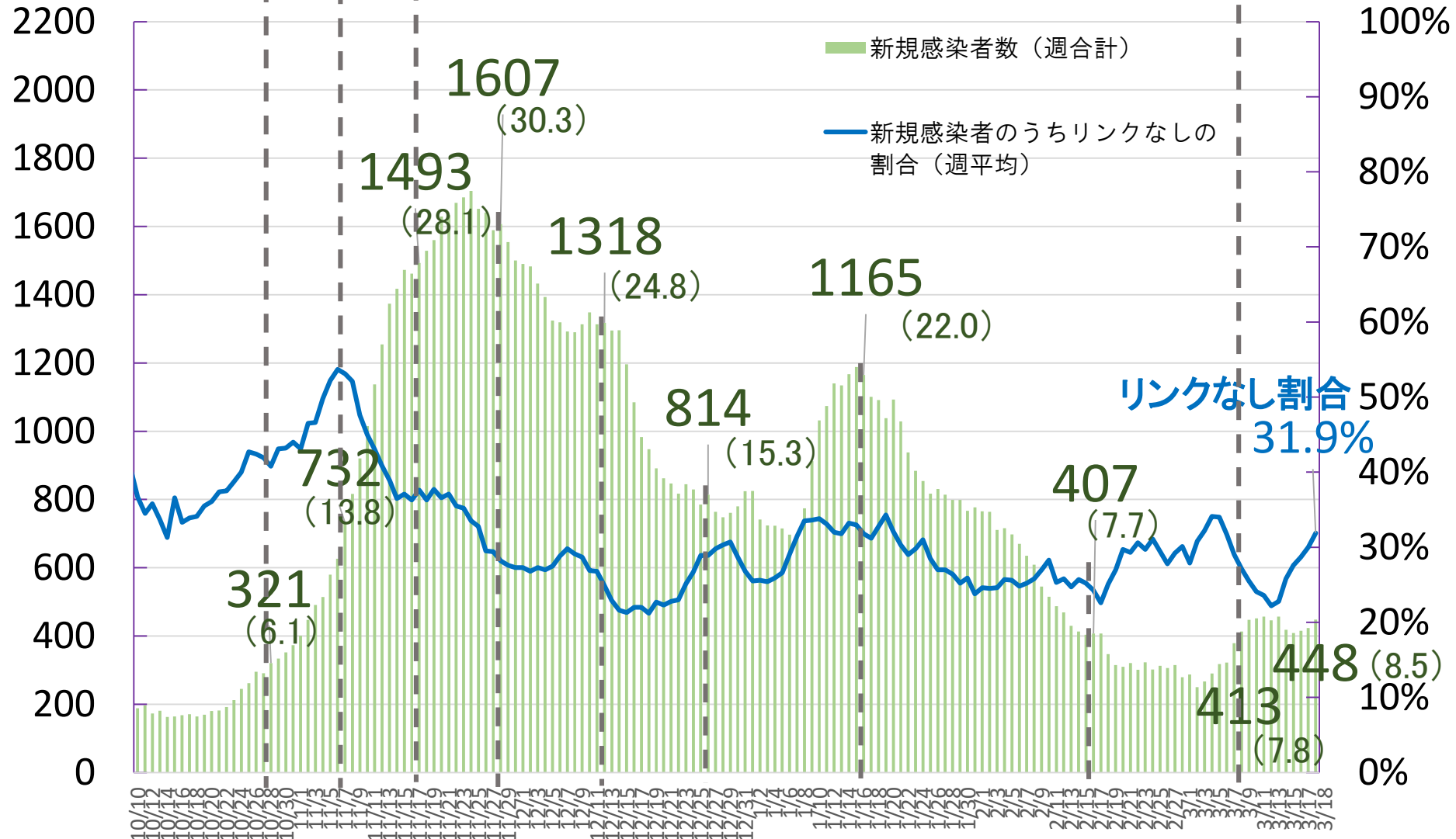
ステージ2

ステージ3

新規感染数(人)

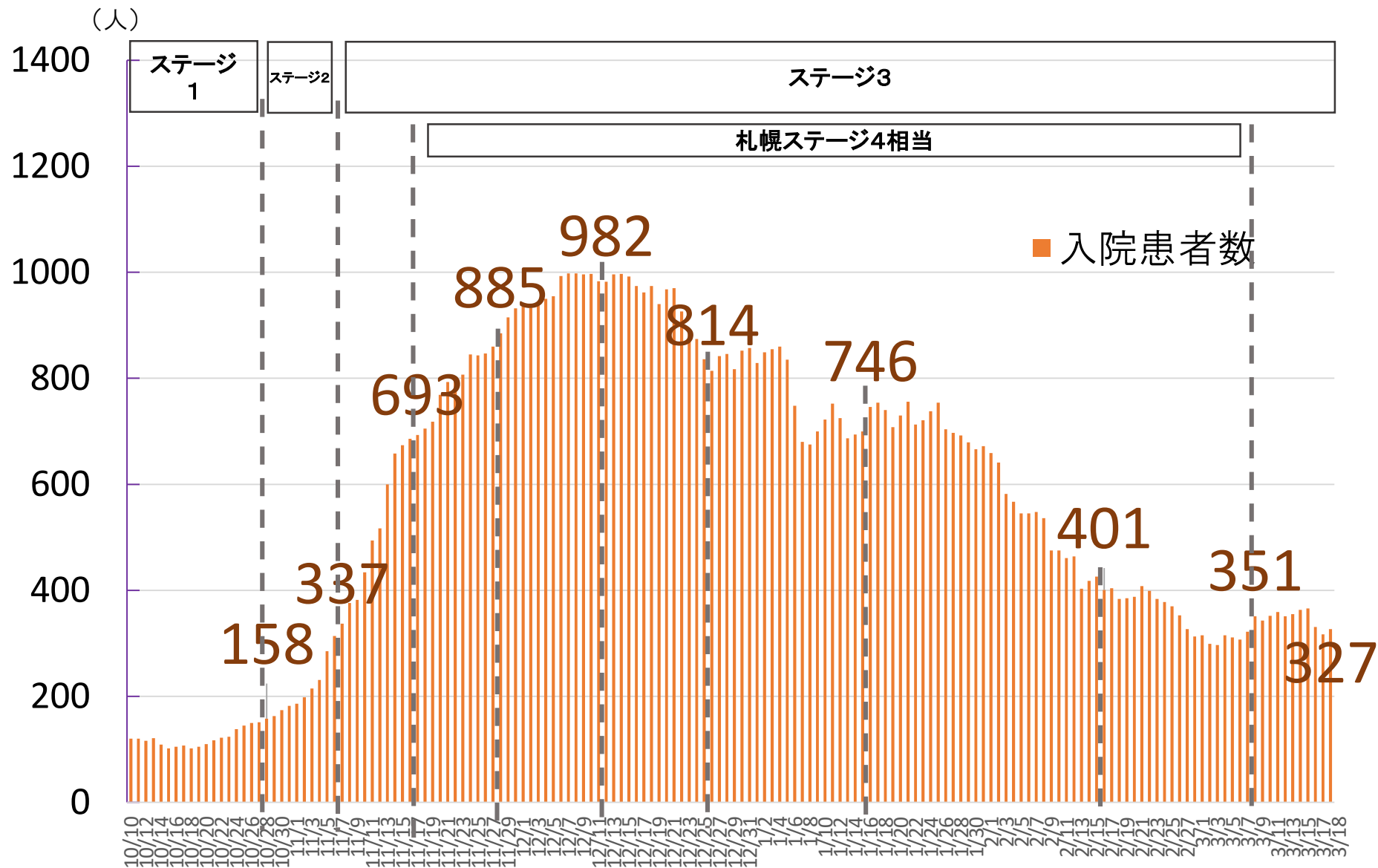
札幌ステージ4相当

リンクなし
の割合

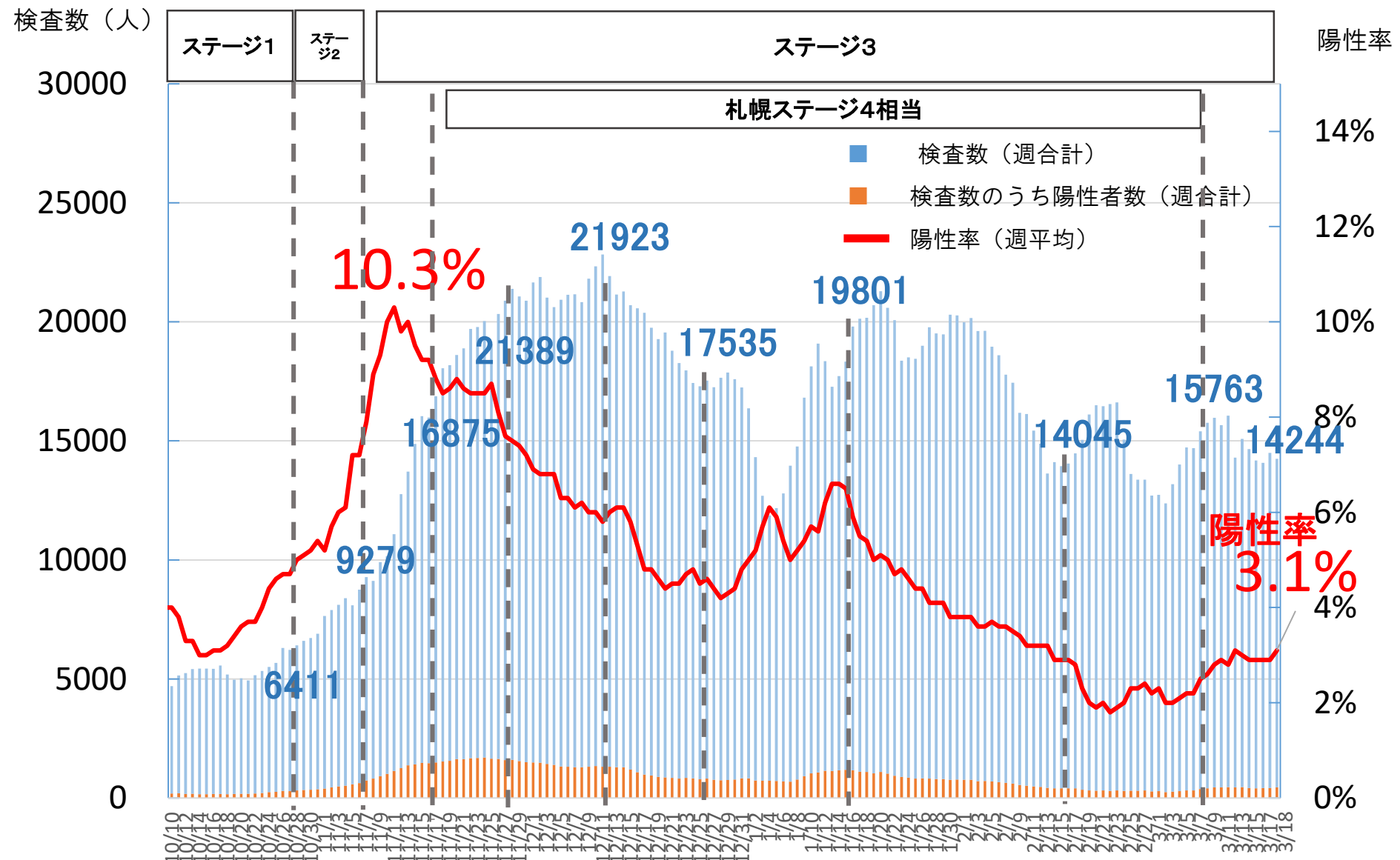


()は10万人当たり人数

医療提供体制等の負荷(病床全体)



監視体制(陽性率と検査数)



地域別の感染状況

	空知	石狩	後志	胆振	日高	渡島	檜山	上川	留萌	宗谷	オホーツク	十勝	釧路	根室	道外	合計
3/5 ～ 3/11	6	214	23	9	0	8	0	34	0	0	7	95	59	0	2	457
3/12 ～ 3/18	2	274	29	5	1	18	0	19	0	0	0	35	53	0	12	448

※「居住地」により整理。なお、各保健所設置市が居住地非公表として発表した者は、各振興局等に含めて計上。

集団感染の発生状況

	11月	12月	1月	2月	3月 (3/18まで)
医療施設 福祉施設	47件 (1883人)	45件 (1572人)	26件 (679人)	15件 (294人)	8件 (232人)
事業所等	17件 (220人)	7件 (143人)	10件 (109人)	10件 (103人)	5件 (83人)
学校	11件 (179人)	10件 (202人)	7件 (196人)	3件 (33人)	4件 (53人)
飲食店等	19件 (222人)	7件 (56人)	15件 (174人)	5件 (43人)	4件 (45人)
合 計	94件 (2504人)	69件 (1973人)	58件 (1158人)	33件 (473人)	21件 (413人)

※「飲食店等」には、接待をとまなうもの及び飲食を伴う行事(集会・イベント等)を含み、その他の行事については、「事業所等」に含めている。

集団感染の発生状況(地域別:3月分)

	件数 (感染者数)	内 訳
札幌市	7件 (109人)	医療施設2件(19人) 事業所等3件(58人) 学校2件(32人)
石 狩	3件 (23人)	医療施設1件(8人) 学校1件(10人) 飲食店等1件(5人)
後 志	3件 (30人)	事業所等2件(25人) 飲食店等1件(5人)
上 川	3件 (46人)	飲食店等2件(35人) 学校1件(11人)
十 勝	1件 (68人)	福祉施設1件(68人)
釧 路	4件 (137人)	医療施設2件(101人) 福祉施設2件(36人)

新型コロナウイルス変異株への対応状況

1 変異株に係るスクリーニング検査の実施状況（道衛研実施）

期 間	新規陽性者数 (道保健所管内)	スクリーニング検査数 (道衛研実施)	うち 疑い事例数	スクリー ニング 検査 実施率
2/1-3/18	1,026	353	14	34.4%

2 変異株に係るゲノム解析の実施：確定判断は国立感染症研究所

検体数	内 訳	摘要
22 (令和3年3月18日時点)	札幌市 21、小樽市 1	全て英国型の変異株

感染状況の比較

		11月2日	3月11日	3月18日
新規感染者数	7日間合計 (10万人当たり)	447人 (8.4人)	457人 (8.6人)	448人 (8.5人)
	前週との比較	1.5倍	1.6倍	1.0倍
	札幌市の割合 (札幌市/全道)	73.4% (328人/447人)	39.2% (179人/457人)	52.7% (236人/448人)
	陽性率	5.7%	2.8%	3.1%
感染経路不明	割合	46.5%	23.6%	31.9%
	実人数	208人	108人	143人
	前週との比較	1.7倍	1.1倍	1.3倍
集団感染	7日間合計	11件、105人 (10/27~11/2)	10件、255人 (3/5~3/11)	7件、67人 (3/12~3/18)
	うち飲食店等	6件、51人	1件、24人	2件、16人
	うち医療・福祉施設	1件、6人	4件、137人	1件、9人

総 評

【感染状況】

- 新規感染者数は、先週から微減。陽性率は低い水準で推移しているが、集団感染の発生件数が減少している中、感染経路不明が上昇している。また、変異株が継続して確認され、集団感染事例も発生している。
- 昨年11月の拡大局面との比較においては、新規感染者数の札幌市の割合が増加し、半数を超え、感染経路不明割合と実人数がともに増加していることに注意が必要。

【医療提供体制】

- 入院患者数は先週に比べ減少し、350床を下回った。重症患者は増加傾向。

【今後の対策】

- 新規感染者数が減少傾向とはなっておらず、変異株事例も継続して確認されるなど注意が必要な状況が続いていることから、高い警戒感を維持し、引き続き、「集団感染への対応の徹底」、「変異株への対応」、「基本的な感染防止対策の徹底」に取り組む。
- 加えて、人の移動の活発化とともに、飲食の機会の増加が本格化する時期となることから、年度末・年度始めの期間、改めて4つの場面（卒業式・入学式等、歓送迎会等、卒業旅行等、入学・着任等）における感染防止行動の徹底について注意喚起を行う。
- 国が更新した「基本的対処方針」などを踏まえて、対策の徹底に取り組む。